

第5分野 市民と行政が協働でつくるまち

基本方針3

交流・連携によるまちづくりを推進します

年度	平成29年度
責任部長	市長公室長
責任課長	政策推進課長
責任課	政策推進課
関係課	秘書広報課・農務水産課・商工課・観光課・学校教育課・社会教育課

【施策名】	【主管課】	【関係課】
① 移住・定住の推進	政策推進課	秘書広報課・商工課・観光課
② 都市交流の推進	政策推進課	秘書広報課
③ 教育機関等と連携したまちづくりの推進	政策推進課	学校教育課・社会教育課
④ 自治体交流の推進	秘書広報課	農務水産課・商工課・観光課・学校教育課・社会教育課
⑤		
⑥		

■基本方針に関連する昨今の社会経済情勢及び関連データ

◆全国・県・圏域等の状況及び関連データ

・全国的に大都市への人口流出などの社会減と自然減が同時に発生しており、人口減少対策の必要性が叫ばれる中で、平成26年5月に民間研究機関「日本創成会議」が消滅可能性都市として全国の市区町村の半分にあたる896自治体を指定して、早急な人口対策を促した。
 ・平成26年7月、内閣官房に「まち・ひと・しごと創生本部」設立準備室が発足し、人口減少と東京一極集中の解消として「地方創生」を方針として打ち出した。
 ・自治体や教育機関等との連携については、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金要綱において、地方公共団体同士の連携や民間事業者との連携を交付対象事業として明記しており、地方創生の重要な要素となっている。

◆本市を取り巻く状況及び関連データ

・郡上市においては平成20年度より郡上市交流・移住推進協議会を官民協働で設立し、郡上市への交流人口・移住人口の増加を推進する取り組みを行っている。
 ・都市交流においては、郡上おどりin青山や郡上おどりin京都といったイベントのほか、東京郡上人会の開催を行っている。また、関市・美濃市・郡上市移住定住促進協議会を設立し、近隣他市との連携事業を行っている。
 ・教育機関等との連携においては、岐阜大学をはじめとしてさまざまな教育機関等との連携を行っている。
 ・自治体交流においては、三重県志摩市、東京都港区、石川県七尾市、兵庫県篠山市と交流を行っている。

■基本方針に従い施策を進める上での重要課題

交流・連携によるまちづくりを推進していくためには、次の課題を解決していく必要があります。

- ・郡上市への交流・移住・定住人口の増加対策の充実。
- ・事業継承による移住・定住人口の増加対策の推進。
- ・都市交流・自治体交流等の交流事業の活性化。

■目指す姿及び指標

目指す姿(目標)

交流・連携により、交流・移住・定住人口が増加し、まちづくりが活発に行われることで、郡上市の魅力が増し、更なる交流・移住・定住人口の増加につながるサイクルができています。

達成状況(各年度の最新値)

目指す成果(成果指標)	関連施策	単位	総合戦略	現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
				▶ 郡上市への定住者数の増加	①	人(ストック)	○	18	201	315
▶ 郡上市への移住相談件数の増加	①	件(ストック)	○	160	519	666				1,200
▶ 郡上ファンクラブ「ふるさと郡上会」の会員数の増加	①	人(ストック)		198	204	184				300
▶ 東京郡上人会の会員数の増加	②	人(ストック)		82	157	172				250
▶ 市内のフィールドワークに参加した学生数の増加	③	人(フロー)		82	35	80				120
▶ 「GOOD郡上プロジェクト」への提案数の増加【再掲】	③	件(フロー)		79	124	363				109
▶ 自治体間交流事業の実施件数の増加	④	件(フロー)		23	27	26				25

■関連する市民アンケート調査の状況

	現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
▶							

■基本方針及び構成施策に関連する事務事業の状況について

【関連する事務事業の成果と課題】

①移住・定住の推進

【成果】各種支援制度の活用と情報発信が効果的に行われたことで、郡上市への移住相談件数、定住者数も増加している。

【課題】地域の魅力発信だけでなく、移住を決意させるために、移住後の暮らしについてより具体的なイメージを提供する必要がある。

②都市交流の推進

【成果】東京郡上人会の新規会員数が増加し成果を上げている。

【課題】東京郡上人会の会員数も増加しているが、交流会開催に係る準備運営は行政が行っており、自発的に事業が実施される仕組みづくりなど、会員と継続的な繋がりを図る。

③教育機関等と連携したまちづくりの推進

【成果】Good郡上プロジェクトへの提案件数も大きく増加するなど、教育機関とも連携したまちづくりが推進されている。

【課題】交流人口の増加とまちづくりの活性化のため、多くの学生の参加が期待される地域資源を生かしたフィールドワークの開催を推進する必要がある。

④自治体交流の推進

【成果】東京都港区、三重県志摩市、兵庫県篠山市、石川県七尾市との交流促進のため、相互訪問を行い交流を行うとともに、民間交流の促進のための支援を行った。

【課題】これまでの交流実績を踏まえ、青少年交流などの面において新たな交流発展に取り組む必要がある。

【決算データ及び構成事務事業の実施状況】

施策名	H28決算額(千円)	H29決算額(千円)	構成事務事業の実施状況(H29)				
			a	b	c	d	小計
① 移住・定住の推進	8,394	10,510	0	1	1	0	2
② 都市交流の推進	10,347	10,489	0	3	0	0	3
③ 教育機関等と連携したまちづくりの推進	0	0	0	0	0	0	0
④ 自治体交流の推進	672	1,939	0	2	0	0	2
⑤							0
⑥							0
小計	19,413	22,938	0	6	1	0	7

a: 順調に実施されており、成果が表れている事務事業

b: 概ね順調に実施されており、一定の成果が表れている事務事業

c: 概ね順調に実施されているものの、目指す成果が表れていない事務事業

d: 実施状況及び目指す成果ともに停滞している事務事業

■総合評価(基本方針に基づき目指す姿がどのような状況にあるか)

総合評価

B 目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

【成果指標を踏まえた評価及びその理由】

①移住・定住の推進

「ふるさと郡上会」会員数は低迷しているが、官民協働で設立した郡上市交流・移住推進協議会に事業委託し郡上市の魅力をかきめ細かく発信することや移住者を対象とした空き家活用に関する支援の成果により移住相談件数、定住者数は順調に推移している。

②都市交流の推進

東京郡上人会の新規会員は増加し、「郡上の応援団づくり」に一定の成果が見られる。

③教育機関等と連携したまちづくりの推進

「Good郡上プロジェクト」への提案数が目標値をすでに達成するなど事業成果が順調に推移しているが、市内のフィールドワークに参加した学生数は現状値を下回っており、多くの学生の参加を促す働きかけも必要である。

④自治体交流の推進

民間交流推進に向け設けられた補助金支援については、毎年3～4団体の申請がありこれらの団体は事業の継続実施の意志を示しており、民間交流の活性化が期待できる。

【アンケート等市民の意見を踏まえた評価及びその理由】

■今後の展開

【今後の展開】

- ①移住・定住の推進
それぞれの事業を推進してだけでなく各事業の連携強化を進め、重層的な移住促進を図る。
- ②都市交流の推進
「より深い郡上ファンを獲得する仕組み」「移住者に積極的にまちづくりに関わってもらおう仕組み」を構築することで、さらなるまちづくりの活性化を目指す。
- ③教育機関等と連携したまちづくりの推進
多くの提案の中から入賞等したGood郡上プロジェクトの実現に向け支援する。
- ④自治体交流の推進
民間交流を推進し、販路開拓に結び付くよう市内業者の活動を支援する。

【具体的な手法又は事務事業名等】

- ①移住・定住の推進及び②都市交流の推進
郡上藩江戸蔵屋敷事業において、首都圏での連続講座を開催することにより、都市部住民をターゲットに郡上の価値(資源)を伝え、より深い郡上ファンを獲得するとともに、郡上市内外において郡上の資源を高め、活かす人を育てる。郡上カンパニー(郡上・自然のしごと学校プロジェクト)推進事業において、移住と起業を結び付けた施策に取り組み、「移住者の増加」「新規雇用の創出機会の創出」「まちづくりの活性化」を進める。
- ③教育機関等と連携したまちづくりの推進
郡上市市民協働センター事業、魅力ある地域づくり推進事業において、中高校生から地域活動に関する提案の実現に向けて支援する。
- ④自治体交流の推進
都市交流推進事業において、市民交流推進事業補助金を活用し支援するが、物産展出店において収益を上げている団体については自立を促す。

■関連する個別計画の有無

有

郡上市 まち・ひと・しごと創生総合戦略